

FRENCH FASTER

Learn French Faster and Smarter

Accent Mark

アクセント マーク

つぎは、フランス語独特のアルファベットに付くマーク、「アクセント マーク」について勉強していきましょう。

アクセントマークによって発音や意味が変わることがあります。
(いくつかのマークは発音も意味も変わらず、古くからの名残で付いているだけのものもあります。)

●Chapter 1 : アクサン記号「^」「´」「`」 <accent sign>

フランス語のアルファベットには「î é à」のように母音の上に記号がつくことがあります、これを「アクセサン記号」といいます。これは英語の「アクセント」のように「そこを強く発音する」というような意味ではなく、基本的にこの記号によって発音の仕方が変わります。

① [^] アクサン・スィルコンフレックス (accent circonflexe)

- 1 : 全ての母音「â ê î ô û」にある。
- 2 : 発音が変わるのは「ê」だけ (e [e] → ê [ɛ])。 (他は時代によるスペルの変化等で発音は同じ)
- 3 : 「ê」は語頭にくる事はあっても、語尾にはない。

^	(1) château	 城	(2) crêpe	 クレープ	(3) île	 島
	(4) hôpital	 病院	(5) flûte	 フルート		

② [´] アクサン・テギュ (accent aigu)

- 1 : 「é」しかありません。
- 2 : 「音節がそこで終わる」という意味です。 (そこで音が区切れる)

´	(1) bébé	 赤ちゃん	(2) café	 コーヒー	(3) appétit	 食欲

③ [`] アクサン・グラーブ (accent grave)

- 1 : 「à è ù」があります。
- 2 : 発音が変わるのは「è」だけ (e [e] → è [ɛ])。 (なめらかに次の音につながる感じに変わる)

`	(1) crème	 クリーム	(2) voilà	 あれが〜だ そこにある	(3) où	 どこ

豆知識 : 「`」が付くことにより、「a」と「u」は意味が変わります。

仏語	英語	日本語
où	where	どこ
ou	or	〜や、または

仏語	英語	日本語
là	there	そこに
la	the	その

仏語	英語	日本語
à	to	〜へ、〜に
a	has	持っている 〜がある

●Chapter 2 : トレマ 「¨」 <tréma>

通常、フランス語は母音字が2つ、3つ繋がっても「1つの音」しか発音しません。
 例えば「ai」は「ai (アイ)」とは発音せず、「ai [ɛ] (エ)」と1つの音で発音します。
 ※これを「複母音字」といいます。詳細は【実践編】テキストで紹介します。

但し、この「¨ (trémaトレマ)」が付くと母音をそのまま発音します。

つまり、「ai¨」だと「ɛ (エ)」、「ai¨」だと「ai (アイ)」と発音します。

¨	(1)	 クリスマス	(2)	
	Noël		mais - maïs しかし(but) - トウモロコシ	

●Chapter 3 : セディーユ 「ç」 <cédille>

「ca」は [ka] (カ)

「co」は [ko] (コ)

と発音しますが、セディーユという「c」の下に尻尾のようなものが付いて「Ç」になると、

「ça」は [sa] (サ)

「ço」は [so] (ソ)

という音に変化します。

Ç	(1)	 ギャルソン	(2)	 あれ、それ
	garçon	ça		
	(3)	 まあまあ		
	comme ci comme ça			